

CASBEE神戸ver.3
 (仮称)神戸市営東多聞台住宅建設事業市営住宅(Aブロック)新築工事

■使用評価マニュアル: CASBEE神戸ver.3

欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト:

CASBEE神戸ver.3/CASBEE-BD

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質										4.0
Q1 室内環境							0.40		-	3.7
1 音環境						3.0	0.15	3.0	1.00	3.0
1.1 室内騒音レベル						3.0	0.50	3.0	0.50	
1.2 遮音						3.0	0.50	3.0	0.50	
1 開口部遮音性能						3.0	1.00	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能						-	-	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						-	-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						-	-	3.0	0.20	
1.3 吸音						-	-	-	-	
2 温熱環境						1.6	0.35	4.0	1.00	3.7
2.1 室温制御						2.2	0.50	4.0	1.00	
1 室温						3.0	0.63	-	-	
2 外皮性能		省エネ等級4				1.0	0.38	4.0	1.00	
3 ゾーン別制御性						-	-	-	-	
2.2 湿度制御						1.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式						1.0	0.30	-	-	
3 光・視環境						3.0	0.25	4.0	1.00	3.8
3.1 昼光利用						4.2	0.30	4.0	0.50	
1 昼光率		共用部の昼光率:2.95% 専用部の昼光率:7.40%				5.0	0.60	5.0	0.50	
2 方位別開口						-	-	3.0	0.30	
3 昼光利用設備						3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策						2.0	0.30	4.0	0.50	
1 昼光制御		住戸には、カーテン・庇(バルコニー)を設置				2.0	1.00	4.0	1.00	
3.3 照度						3.0	0.15	-	-	
3.4 照明制御						3.0	0.25	-	-	
4 空気質環境						4.2	0.25	4.0	1.00	4.0
4.1 発生源対策						5.0	0.60	5.0	0.63	
1 化学汚染物質		F☆☆☆☆を利用している				5.0	1.00	5.0	1.00	
4.2 換気						3.0	0.40	2.3	0.38	
1 換気量						-	-	3.0	0.33	
2 自然換気性能						-	-	1.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮						3.0	1.00	3.0	0.33	
4.3 運用管理						-	-	-	-	
1 CO ₂ の監視						-	-	-	-	
2 喫煙の制御						-	-	-	-	
Q2 サービス性能						-	0.30	-	-	3.7
1 機能性						4.1	0.40	4.6	1.00	4.5
1.1 機能性・使いやすさ						4.0	0.40	5.0	0.60	
1 広さ・収納性						-	-	-	-	
2 高度情報通信設備対応		後工事にてケーブルテレビ対応可				-	-	5.0	1.00	
3 バリアフリー計画		福祉のまちづくり条例にて、移動円滑化経路の基準に対応している。				4.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性						4.0	0.30	4.0	0.40	
1 広さ感・景観		住戸・宿泊部の天井高を2.5mとしている。				-	-	4.0	0.50	
2 リフレッシュスペース						-	-	-	-	
3 内装計画		多世代が居住することを踏まえ、世代を問わず好まれるカラーリング				4.0	1.00	4.0	0.50	
1.3 維持管理						4.5	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		取組数8				4.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保		取組数10。屋上までの階段を設置。				5.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性						3.2	0.30	-	-	3.2
2.1 耐震・免震・制震・制振						3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)						3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能						3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数						3.7	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		住宅性能劣化対策等級3のため				5.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						3.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		(住戸内)床CFシート・壁ビニールクロス。(マニュアルの耐用年数よ				4.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔						3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		1.給水(一般配管用ステンレス鋼管)C 2.給水(水道用ポリエチレン管)B 3.汚水排水(硬質塩化ビニル管)B				5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔						2.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性						3.2	0.20	-	-	
1 空調・換気設備						3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備						3.0	0.20	-	-	
3 電気設備						3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法						3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備		メタルケーブルや携帯電話網など、通信手段の多様化を図っている				4.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性			3.2	0.30	3.1	1.00	3.1
3.1 空間のゆとり			-	-	3.2	0.50	
1	階高のゆとり	階高を2.9mとしている。	-	-	4.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ		-	-	2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			-	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.2	1.00	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性	1.給水(一般配管用ステンレス鋼管)C 2.給水(水道用ポリエチレン管)B 3.汚水排水(硬質塩化ビニル管)B	4.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	4.8
1 生物環境の保全と創出		取組数13	5.0	0.30	-	-	5.0
2 まちなみ・景観への配慮		評価数5	5.0	0.40	-	-	5.0
3 地域性・アメニティへの配慮		-	4.5	0.30	-	-	4.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		評価数5	5.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		評価数12	4.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.9
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.4
1 建物外皮の熱負荷抑制		BEI=0.81	4.0	0.20	-	-	4.0
2 自然エネルギー利用		続き間型住戸プランによる採光、通風環境の向上に配慮している。	4.0	0.10	-	-	4.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.81	5.0	0.50	-	-	5.0
4 効率的運用			3.5	0.20	-	-	3.5
集合住宅以外の評価			-	-	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	-	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	-	-	-	
集合住宅の評価			3.5	1.00	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制		内覧会時の丁寧な説明や個別相談窓口の設置を行います。	4.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.5
1 水資源保護			2.8	0.20	-	-	2.8
1.1 節水			1.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			4.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無	雨水タンク設置	4.0	1.00	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		-	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.8	0.60	-	-	3.8
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		パーティクルボード、長尺塩ビシート、磁器質タイル	5.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		内装は、木軸と石膏ボードを用いた二重壁としている。	5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.6	0.20	-	-	3.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用		4項目対応している	5.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.8
1 地球温暖化への配慮		概算値による換算スコアによる	4.4	0.33	-	-	4.4
2 地域環境への配慮			3.6	0.33	-	-	3.6
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善		取組数13	4.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.7	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	4項目対応している。	5.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制	4項目取組している	4.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.5	0.33	-	-	3.5
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.7	0.40	-	-	
1	風害の抑制	検証により、元々の風環境よりも改善する計画としています。	4.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		-	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	「光害対策ガイドライン」チェックリストの項目の過半を満たしている	5.0	0.70	-	-	
2	屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	